

---

## セメント系固化材の利活用セミナー

—大規模災害に対してセメント系固化材による地盤改良が果たす役割—

主催：一般社団法人セメント協会

後援：公益社団法人土木学会西部支部 公益社団法人地盤工学会九州支部

公益社団法人日本コンクリート工学会九州支部 一般社団法人建設コンサルタンツ協会九州支部

---

セメント系固化材を用いた地盤改良工法は、多種多様な施工機械も開発されて、液状化対策や地盤の安定対策、既設構造物の耐震補強技術などのさまざまな用途で用いられており、今やインフラ整備には必要不可欠な技術となっております。

セメント協会では、東北地方太平洋沖地震の発生後、改良地盤上の構造物および地盤の安定性の確認を目的に、被害状況などを調査しました。そして2013年2月に「東日本大震災におけるセメント系固化材を用いた地盤改良に関する調査報告書」を発刊しております。報告書では、セメント系固化材による地盤改良の耐震効果の適用事例を中心に紹介しております。一方で、復旧・復興工事に関しては、工事が進行中であり、セメント系固化材が使用された適用事例の掲載が少ないため、報告書発刊後も調査を継続してきました。調査の過程において、将来の大規模災害に備えた地盤改良工事が多数実施されていることが判明したため、これら適用事例を収集・整理し、あらたに2015年3月に「大規模災害に対してセメント系固化材による地盤改良が果たす役割」と題した報告書を取りまとめました。

一連の調査結果が、セメント系固化材を用いた地盤改良工事の重要性・有効性の理解を助け、今後の地盤改良工事の計画、設計、施工、施工管理と品質管理に大いに活用されることを期待しております。

本セミナーでは、上述の調査概要をご報告するとともに、九州に多く見られる軟弱地盤や特殊土の地盤改良に用いられるセメント系固化材の役割、建設工事に伴う発生土の利用と改良、地盤環境への影響についても学識者によりご講演をいただきます。

この機会に是非ともご聴講いただけますようご案内申し上げます。

1. 日 時：2015年9月8日（火）13:00～16:50
2. 会 場：博多都ホテル 3F・孔雀の間 [812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-1-1]
3. 受講料：無料
4. 定 員：150名（定員になり次第締め切らせていただきます）
5. CPD：土木学会認定 CDP プログラム（3.5単位 JSCE15-0502）
6. 講 演：
  - 13:00～13:30 大規模災害に対してセメント系固化材による地盤改良が果たす役割  
東京工業大学大学院 教授 北詰 昌樹 氏
  - 13:30～14:30 セメント系固化材の概要と適用事例調査について  
(一社)セメント協会 セメント系固化材技術専門委員会 委員長 清田 正人 氏
  - 14:40～15:40 軟弱地盤対策におけるセメント系固化材の役割  
福岡大学大学院 教授 佐藤 研一 氏
  - 15:50～16:50 発生土や分別土の利用と地盤環境への影響  
京都大学大学院 教授 勝見 武 氏
7. 申込先：セメント協会 普及部門宛に受講申込書を FAX してください  
103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-9-4 FAX.03-5200-5062 TEL03-5200-5060

セメント系固化材の利活用セミナー（福岡）受講申込書  
 セメント協会 普及部門 FAX 03-5200-5062

所属	氏名	TEL	FAX

<会場のご案内>

博多駅・筑紫口（新幹線口）を出ますと正面右側に見えます。徒歩 1 分

